

オンライン配信上の問題点

問題点

浪切ホールには、ADSLしか有線回線がない。

オンライン配信の際には、アップロード速度（上がり速度）が重要であるが、十分な速度を確保できるか。

上り速度（最大）一覧

ADSL	光回線	iPhone（4G）	ポケットwifi	レッツノートの内蔵LTE
10Mbps程度	1Gbps	46Mbps	3~16Mbps程度	50Mbps

※ADSLは、基地局からの距離により最大値から下がるのが通常。

※無線方式は電波の混み具合により速度に影響が生じる。昼間より夜間が遅くなる傾向。

LTEは比較的基地局が多く安定しているとされている。

YoutubeLIVEで必要とされる速度

通常だと実測値で20Mbps程度出ているのが目安。

→6月事業では配信がうまくいかなかったため、YoutubeLIVEは行わない。

ZOOMで必要とされる速度

それなりの画質と音声を担保するには最低でもアップロード速度10Mbps前後は必要。

インスタLIVEで必要とされる速度

はっきりとした数字が見つからなかったが、5～6Mbps程度と思われる。

対応策

①現行案

同時配信はインスタLIVEをスマホの4G回線を利用し、録画・録音したデータを編集ソフト（OBSstudio）で編集し、Youtubeで「見逃し配信」を行う。

【メリット】

インスタLIVEは通信量が多くなくスマホの4G回線であれば十分配信可能。

YoutubeはLIVEでなければ、通信速度は問題とならない。

【デメリット】

インスタLIVEではパワポ画面を表示させながらカメラ画面を表示することはできない。

い。

インスタLIVEとは別にカメラ・マイクでの録音録画が必要であり複雑。

編集ソフト（OBSstudio）で編集が不慣れ。

②ZOOMで同時配信、録画したものをYoutubeで「見逃し配信」

同時配信はZOOMで行い、ZOOMの録画機能で録画した画像を Youtube でも見逃し配信する。これまで、岸和田の事業では、2020年11月定例会、2021年2月定例会において、浪切ホールのADSLを用いてZOOMを用いてオンライン事業を行っており、実績はあるといえる。

【メリット】

画面共有を用いてパワポ画面を表示させながらカメラ画面を表示することもできる。

現地で使うツールはZOOMだけなので、設営がシンプル。

【デメリット】

通信速度の問題点はリスクとして残る。

2020年11月定例会のオンライン参加者は14名、2021年2月定例会は9名と少人数であり、大人数となった場合に問題無いのかは分からない。

③ZOOMを使用するが、ZOOMのストリーミング機能を使用して、YoutubeLIVEで同時配信する。

ZOOMは公開せずに配信に必要なメンバーのみが入る。ZOOMに参加しているメンバーが通信環境の良い別場所から、光回線などでストリーミング配信する。

【メリット】

画面共有を用いてパワポ画面を表示させながらカメラ画面を表示することもできる。

会場の通信速度が遅くても、通信環境のよい別場所から配信できる。

現地で使うツールはZOOMだけなので、設営がシンプル。

【デメリット】

配信の段取りをできるメンバーが別場所で待機する必要がある（人手不足）。

通信速度の問題はやや残る。

ZOOMのストリーミング配信に不慣れ。